

# 一日ドックオプション検査のご案内

オプション検査は、事前(受診日の5～6日前までに)電話等で予約をしてください。※印の検査は、人数制限があります。早目のご予約をお願いします。

H27(2015)/4/1

検査項目	税込料金8%	備 考	
※肺CT	16,103	マルチスライスCTにより薄いスライス厚で撮影時間も短く鮮明な画像が得られます。従来のX線撮影に比べ小さな病変までとらえることができ、早期に肺がんが発見できます。現在では肺がんの診断に重要な検査です。50歳以上のヘビースモーカーの方には特にお勧めします。(※胃内視鏡検査を受ける方に限ります。)午後からの検査になります。	
※頸動脈超音波検査	3,240	超音波で内頸動脈(首の部分の動脈)病変をみることで、動脈硬化症の程度を知ることができます。それにより虚血性疾患(狭心症、心筋梗塞、脳梗塞)や閉塞性動脈硬化症などの早期発見や予防をすることができます。また、甲状腺も観察します。	
※血圧脈波検査	1,620	四肢の血圧を同時に測定し、足関節/上腕血圧比や脈波伝播速度を測定することで、血管の硬さや狭窄・閉塞の有無を知ることができます。動脈硬化の程度がわかり、虚血性の疾患や閉塞性動脈硬化症などの早期発見や予防をすることができます。	
※乳がん検診	視触診+マンモグラフィ 35歳以上	4,320	乳がん検診として、視触診とマンモグラフィを併用して検査します。マンモグラフィは乳房をプラスチック板で押し挟んで平らにしてX線撮影します。ごく小さな乳腺の変化、触診で見つかりにくい小さいがんも発見することができます。乳がん罹患率の高い40～50歳代の方に特にお勧めします。なお、豊胸術を受けた方・ペースメーカーを装着している方はこの検査はできません。
	視触診 39歳以下	1,620	乳房・乳頭の状態を視診察し、触診でしこりの有無を調べます。
※子宮頸がん検診	3,240	婦人科の内診及び細胞診(子宮頸部の分泌液中の悪性細胞を直接検査する方法)によって子宮頸がんを早期に発見します。	
※X線骨密度測定	4,860	2種類の異なるエネルギーのX線を用いて測定する、より精度の高い骨密度検査です。骨折すると多大な苦痛を強いられる腰椎部、大腿骨部の骨密度を測定します。検査時間は10分程度で、X線の被曝量は一般撮影の数十分の一です。これまでに超音波骨密度での測定値が低かった方や、血縁に骨折や骨粗鬆症の人がいる方にお勧めします。(※胃内視鏡検査を受ける方に限ります。)午後からの検査になります。	
骨密度測定(超音波)	1,620	骨密度は年齢とともに低くなります。骨密度の低い人は骨折を起こしやすいので、日常生活や食事の注意が必要です。特に女性は、閉経後の骨密度の低下が強いので、骨粗鬆症の早期発見や予防になります。	
腫瘍マーカー(血液検査)	消化器系	4,320	腫瘍マーカーは、がんなどの悪性腫瘍のとき血液中に増加します。画像診断と組み合わせることで、がんの発見に有用です。 * AFP(α-フェトプロテイン): 原発性肝臓がんが増加 * CEA(がん胎児性抗原): 特に消化器(胃、大腸、膵臓等)がん、肺がん(腺がん) * CA19-9: 膵臓がん、胆嚢がん、胆管がん、大腸がん、胃がんなどで増加
	肺がん系	4,320	* シフラ(CYFRA): 肺がんのうち扁平上皮がん・腺がん・大細胞がん、また卵巣がん・乳がんなどでも増加します。 * ProGRP: 肺がんのうち小細胞がんのマーカーとして信頼性の高い検査です。
前立腺腫瘍マーカー(血液検査)	2,700	前立腺がんのときに血液中に増加する物質のうちPSA(前立腺特異抗原)を検査します。この検査が陽性の場合には、必ず泌尿器科専門医に相談して、精密検査を受けてください。	
卵巣腫瘍マーカー(血液検査)	4,320	卵巣がん検診のスクリーニングに腫瘍マーカーのCA125とCA72-4を組み合わせることで血液検査をすることにより卵巣がんを発見する手掛かりとなります。	
ペプシノーゲン(血液検査)	3,240	血液中のペプシノーゲンの量は、胃粘膜の萎縮と関係しています。血液中のペプシノーゲンを測ることにより胃粘膜の健康度(萎縮度)がわかります。萎縮の強い胃はがんになりやすいともいわれています。	
BNP測定(血液検査)	1,620	心臓にどれくらい負担がかかっているかを診る検査です。血液検査で心疾患を測定できる唯一の検査です。	
内臓脂肪マーカー(アディポネクチン)(血液検査)	4,320	肥満(内臓肥満)・糖尿病・動脈硬化症・メタボリックシンドロームが気になる方にお勧めする血液検査です。脂肪細胞から分泌されるアディポネクチンを測ることにより肥満関連疾患のチェックができます。	
HIV検査(血液検査)	2,160	エイズウイルスの抗体を検査します。この検査はウイルスが入って(感染して)から、3～8週間経った後で、初めて陽性に出ます。従って、検査の時期と結果によっては、再検査が必要な場合もあります。	
甲状腺機能検査(血液検査)	4,320	血液中の甲状腺ホルモン(FT3、FT4)、甲状腺刺激ホルモン(TSH)を測定して甲状腺の働きや異常を調べる検査です。月経不順、だるい、疲れやすいなど体調が悪い方、血縁に甲状腺の病気がある方、また、甲状腺疾患は女性に多いので症状がなくても一度受けられることをお勧めします。	
肥満遺伝子検査(爪、または口腔粘膜)	6,995	爪、または口腔粘膜を採取して肥満遺伝子の分析をします。基礎代謝量や脂肪のつき方、糖代謝・脂質代謝異常の起こしやすさ、高カロリー食嗜好の傾向、リバウンドのしやすさなどが分かり、肥満に関する病気の改善や予防に役立ちます。健診日に肥満遺伝子分析キットをお渡しして、ご自宅で爪を採取して送っていただくと3週間後に結果が郵送されます。遺伝子検査なので一度検査されればよいです。	
アルコール遺伝子検査(爪、または口腔粘膜)	5,400	爪、または口腔粘膜を採取して遺伝子を調べ、自分のアルコールの適量はどれくらいか、また継続飲酒をすることで発生しやすい病気は何かを知ることができます。爪の採取方法は、肥満遺伝子検査と同様です。	
喀痰細胞診(3日間蓄痰)	2,700	喀痰中に剥離してきた細胞からがん細胞の有無を検査します。太い気管支などに発生するがんの発見に有効です。あらかじめ蓄痰用の容器をお送りしますので、健診日にご持参ください。	
尿細胞診(尿検査)	2,700	尿路系の上皮がん、膀胱がん、腎盂尿管がんの診断に有効です。継続的に尿潜血陽性の方にお勧めします。健診日にセンターで採取していただきます。	
血清ピロリ抗体	2,376	慢性萎縮性胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍が再発する原因の一つに、ヘリコバクター・ピロリという胃の中に存在する細菌が関係することが明らかになっています。またこの細菌感染が胃がん発生のリスクファクターになるともいわれています。特に胃の症状がよくある方にお勧めします。	
推定食塩摂取量(尿検査)	648	尿中Na・尿中Crを測定し、年齢・身長・体重から食塩摂取量を計算します。	

一日ドック受診日に、後日の大腸検査の予約をお取りできますので、看護師にご相談ください。

※大腸検査	全大腸内視鏡検査	15,120	洗腸剤を内服し大腸を空にして大腸全体を観察する検査です。ポリープ切除後等の経過観察や便潜血反応で異常があった方の精密検査に適しています。
-------	----------	--------	--

広島赤十字・原爆病院 健康管理センター

電話(082)24-3111 内線(3000～3002)